

さっぽろ環境インタープリター養成プログラム

第9回「情報を拡散したくなる仕組みを考えよう」報告

事業名	さっぽろ環境インタープリター養成プログラム 第9回「情報を拡散したくなる仕組みを考えよう」
講師	NPO 法人ひまわりの種の会 廣瀬 岳史氏
実施日時	平成 27 年 12 月 1 日(火) 18:30~20:30
実施場所	札幌テレビ塔会議室
参加人員	22 名
実施の様子	<p>【廣瀬 岳史氏 講演】</p> <p>■環境教育教材「スマイルフォトスタンド」の制作するうえで検討したポイントについてお話しした。</p> <ul style="list-style-type: none">・「環境情報を不特定多数に発信していくためにはどのようなことが必要か」をテーマに検討した。・検討会議では「楽しいこと」を発想のきっかけに教材のアイデアを発展させた。・多くの人々が「面白そう」と興味、関心を向けてもらうことが大切。・さらに、関心を持った人が「口コミ」や「SNS」ツールなどの利用で情報が拡散される仕組みになることを検討。・公共の場で活用することになるため、安全対策、配慮が大事である。・積雪寒冷地の屋外でも対応できる設備にするための考慮が必要。・ホワイトイルミネーション会場以外も活用できる汎用性を検討する。 <p><目指したもの></p> <p>「世界で初めて！光る顔ハメ的環境教育教材」（インパクトを重視） 「見たら、試さずにはいられない！」（わかりやすく行動を促す） 「シェアしたくなる！」（SNS を活用した拡散を誘導）</p> <p><できたもの></p> <ul style="list-style-type: none">・環境クイズ正解で LED が七色に！（でも白い灯りのほうが写真写りはいい）・再生可能エネルギー活用の光る顔自分自身がテレビ塔になって、テレビ塔と一緒に撮影ハメは最先端！・1 丁目会場で活用されているバイオディーゼルフューエル（BDF）に関心を持ってもらうために、環境クイズ機能を装備。

クイズに答えると、白色LEDからレインボーLEDに切り替わり、明かりが様々な色に変化します。

■環境インタープリターにとって必要な要素についてお話をした。

- ・環境にあまり興味のない人に興味・関心を持ってもらうには、「楽しい」が必須！
「悪」がつかない「ノリ」をどうやって考えていくかが、環境啓発における入口では重要なこと。

■「フェイスブックに載せたいくなる、人に教えたいくなるエコイルミネーションのアイデアを出そう」というテーマでブレインライティングという手法を用いワークショップを実施。

- ・「こんなことがあったら楽しいな」という観点でグループごとに受講者がアイデアを出した。
- ・出されたアイデアを各グループで取りまとめ、発表。
- ・「ファッション」「アトラクション」「感覚」「自家発電・エネルギー」「写真撮影」「飲食」「参加型」「サービス」「展示」など傾向があり、それぞれのアイデアについて全体で共有した。

